

# 長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2024年第32週 2024年8月5日（月）～2024年8月11日（日） 2024年8月15日作成

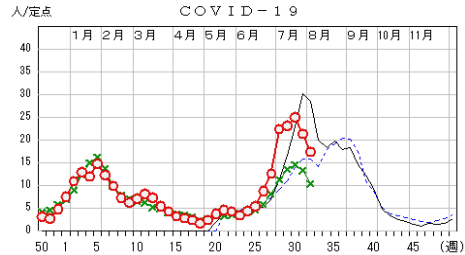
☆定点<sup>※</sup>報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

## （1）新型コロナウイルス感染症

第32週の報告数は1,167人で、前週より327人少なく、定点当たりの報告数は17.42であった。

年齢別では、70～79歳（169人）、80歳以上（143人）、60～69歳（142人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（27.00）、対馬保健所（27.00）であった。

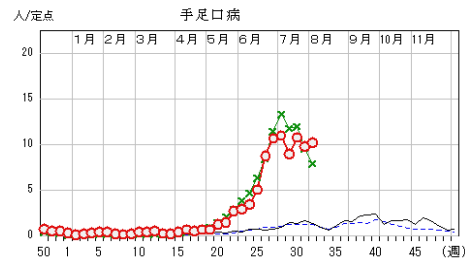


## （2）手足口病

第32週の報告数は440人で、前週より9人多く、定点当たりの報告数は10.23であった。

年齢別では、1歳（107人）、2歳（72人）、4歳（68人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、長崎市保健所（18.40）、県央保健所（16.14）、対馬保健所（13.00）であった。

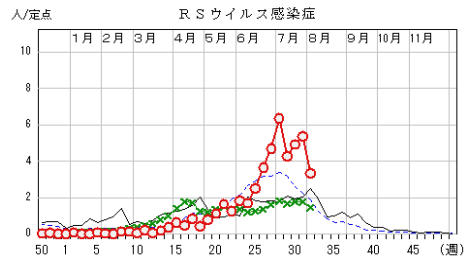


## （3）RSウイルス感染症

第32週の報告数は143人で、前週より93人少なく、定点当たりの報告数は3.33であった。

年齢別では、1歳未満（54人）、1歳（48人）、2歳（20人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（11.00）、県南保健所（4.40）であった。



○ 当年(長崎県)      前年(長崎県)  
 × 当年(全国)      前年(全国)

※インフルエンザ/COVID-19定点数：67、小児科定点数：43、眼科定点数：4、基幹定点数：12

## ☆上位3疾患の概要

### 【新型コロナウイルス感染症】

第32週の報告数は1,167人で定点当たり報告数は17.42となり、前週より減少しました。地区別に見ると、県北地区（27.00）、対馬地区（27.00）は他の地区より多くなっています。年代別では、多くの年代で前週より減少しました。県全体では2週続けて減少しましたが、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。また、帰省等で高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、特に感染予防を心がけましょう。

【手足口病】

第32週の報告数は440人で、前週より9人多く、定点当たり報告数は10.23でした。8週続けて警報レベルの報告数となっています。地区別にみても、五島地区、壱岐地区をのぞく地区で警報レベルが継続しています。

本疾患は、口腔粘膜および四肢末端に現れる水疱性発疹を特徴とする乳幼児に多いウイルス性疾患です。感染経路は、糞口感染、飛沫感染で水疱内容液からも感染します。手洗い、うがいを励行し、感染防止に努めましょう。原因ウイルスの種類によっては手足口病とともに無菌性髄膜炎や脳炎を併発させることもありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

【RSウイルス感染症】

第32週の報告数は143人で、前週より93人少なく、定点当たりの報告数は3.33でした。地区別に見ると県北地区（11.00）、県南地区（4.40）は他の地区より多くなっています。前週より減少しましたが、今後も予防に努めましょう。

本疾患は、発熱や鼻水が主な症状の呼吸器感染症で、通常は軽症で済みますが、6か月未満の乳幼児では、重い咳が出て呼吸困難や肺炎、脳症になることもあります。

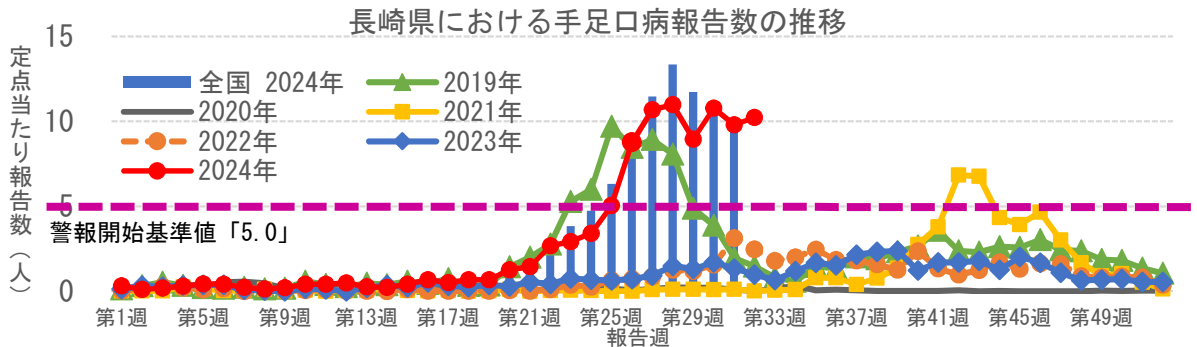
乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。

★トピックス：手足口病が流行しています

手足口病は、四肢および口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。

**長崎県の第32週の定点当たり報告数は「10.23」で、8週続けて警報レベル開始基準値「5.0」を超えました。**地区別でも、10保健所のうち、五島、壱岐を除く8保健所で警報レベルの報告数となっています。

今後も手洗い、うがいを励行し、感染防止に努め体調管理に気をつけましょう。

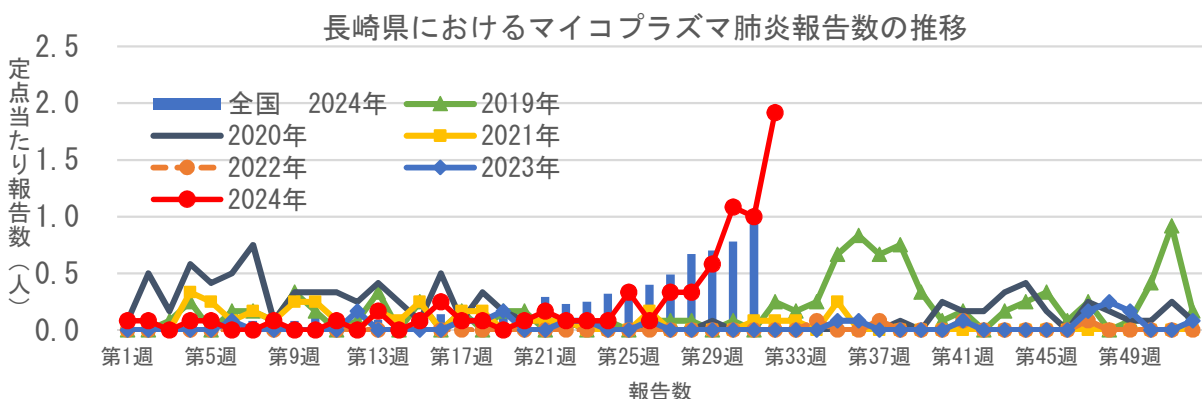


★トピックス：マイコプラズマ肺炎の報告数が増加しています

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマという細菌による感染症です。全年齢で1年を通して報告があります。感染経路は、患者の咳やくしゃみを介した飛まつ感染や病原体が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染があります。2～3週間の潜伏期間の後、発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などが見られます。咳は、解熱後も3～4週間続くことがあります。まれに重症化することや、無菌性髄膜炎、脳炎などの合併症がみられることもあります。

2024年は、7月中旬から報告数が増加し、過去5年で最大の定点当たり報告数となっています。年代別では10歳未満が最も多く、そのうち5～9歳で全体の4割を占めています。

予防には、手洗いやうがいを徹底することが大切です。咳が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



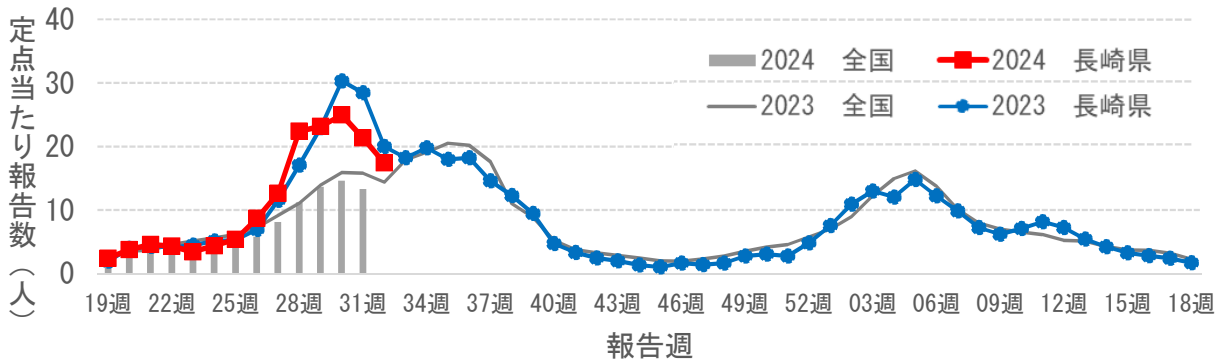
☆トピックス：新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第32週の定点当たり報告数は「17.42」で、2週続けて減少しました。地区別にみても、多くの地区で前週より減少しています。

報告数は前週より減少しましたが、今後も引き続き注意が必要です。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。また、帰省等で高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、特に感染予防を心がけましょう。

(参考) 長崎県地域保健推進課 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う協力依頼について  
<https://www.pref.nagasaki.jp/press-contents/678137/index.html>

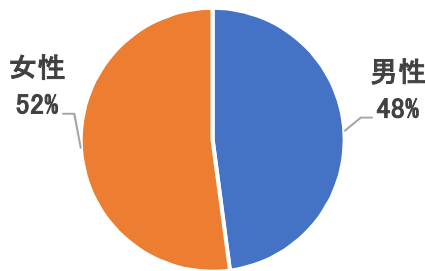
新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告数推移



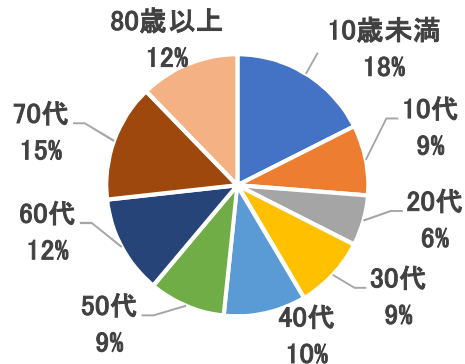
新型コロナウイルス感染症の保健所別報告数

	長崎県	佐世保市	長崎市	杵岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
報告数	1167	140	249	44	109	182	179	81	35	67	81
定点数	67	11	17	2	6	10	8	3	4	3	3
定点当たり報告数	17.42	12.73	14.65	22.00	18.17	18.20	22.38	27.00	8.75	22.33	27.00

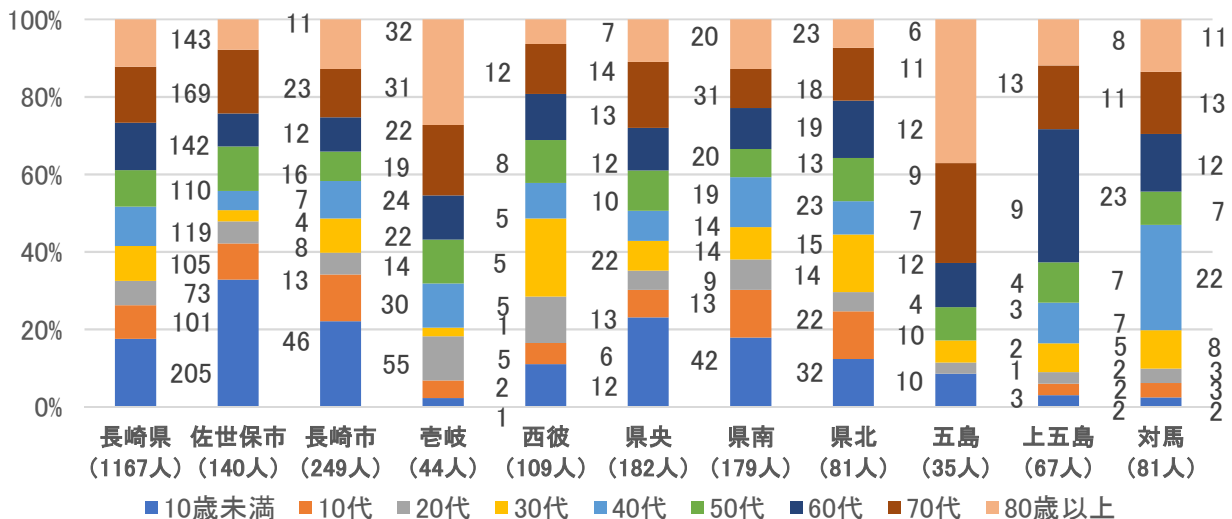
性別割合



年代別割合



保健所別年代別報告数



◆全数届出の感染症

- 2類感染症：結核 患者 男性（80代以上・1名）
- 3類感染症：報告なし
- 4類感染症：日本紅斑熱 患者 女性（70代・1名、80代以上・1名）
- 5類感染症(全数把握対象)：侵襲性肺炎球菌感染症 患者 男性（60代・1名）  
 梅毒 患者 男性（30代・1名） 女性（20代・1名）  
 無症状病原体保有者 男性（40代・1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第27~32週、7/1~8/11)

疾患名	定点当たり患者数					
	27週 7/1~	28週 7/8~	29週 7/15~	30週 7/22~	31週 7/29~	32週 8/5~
インフルエンザ	0.39	0.56	0.13	0.26	0.23	0.16
新型コロナウイルス感染症	12.61	22.40	23.13	24.94	21.34	17.42
RSウイルス感染症	4.70	6.34	4.26	4.93	5.36	3.33
咽頭結膜熱	0.34	0.30	0.28	0.39	0.50	0.51
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	3.18	3.32	3.07	2.48	2.80	2.95
感染性胃腸炎	1.55	1.45	0.88	0.95	0.98	1.56
水痘	0.20	0.23	0.16	0.18	0.11	0.02
手足口病	10.68	10.98	8.95	10.77	9.80	10.23
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.02					
突発性発しん	0.30	0.16	0.21	0.20	0.23	0.21
ヘルパンギーナ	1.18	0.84	0.53	0.70	0.68	0.35
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.05	0.02		0.05		0.12
急性出血性結膜炎	0.13					
流行性角結膜炎	0.50	1.00	0.38	0.38	0.75	
細菌性髄膜炎	0.08					
無菌性髄膜炎			0.08		0.08	
マイコプラズマ肺炎	0.33	0.33	0.58	1.08	1.00	1.92
クラミジア肺炎（木ム病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）						

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第32週、8/5~8/11) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾患名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	0.16	0.55	0.12				0.25	0.33			
新型コロナウイルス感染症	17.42	12.73	14.65	22.00	18.17	18.20	22.38	27.00	8.75	22.33	27.00
RSウイルス感染症	3.33	2.50	2.70	3.50	3.50	3.57	4.40	11.00	3.67		
咽頭結膜熱	0.51	0.50	0.50			0.29	0.20	5.50			
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2.95	1.50	0.90	0.50	1.75	2.57	13.60	4.00			3.50
感染性胃腸炎	1.56	3.00	0.90		1.00	2.57	1.60	5.00			
水痘	0.02	0.17									
手足口病	10.23	5.33	18.40		11.25	16.14	4.00	5.00	1.00	3.50	13.00
伝染性紅斑（リンゴ病）											
突発性発しん	0.21	0.17	0.20			0.57	0.20			0.50	
ヘルパンギーナ	0.35	0.50	0.40		0.25	0.14	0.60	0.50	0.33	0.50	
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.12				0.25						2.00
急性出血性結膜炎											
流行性角結膜炎							1.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎	1.92	5.00	4.00			6.00					
クラミジア肺炎（木ム病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											